

II 企業進出に対応した施策

～企業進出の効果を最大化し、渋滞や環境などの課題解決を最優先で進めます～

道路ネットワークの整備 ▶ 6億217万円(令和7年度3月補正と合算)

菊陽空港線の延伸(令和8年度末完成予定)や、セミコンテクノパーク周辺道路の整備を、国・県と連携して着実に推進します。

地下水涵養・浸水被害防止 ▶ 2億601万円

調整池整備や水田湛水事業などにより、大切な地下水を守り、併せて災害に強い町を目指します。

新たな産業基盤の整備 ▶ 4,429万円

(仮称)第三原水工業団地の整備を進め、さらなる産業活性化の基盤をつくります。

- 企業誘致事業 [2億1,000万円(継続)]
- 商工会連携事業 [1,400万円(拡充)] など



上津久礼区の水田

III 新しいまちづくりに向けた施策

～バランスの取れた土地利用を進め、新たなまちづくりを推進します～

J R 新駅整備と周辺開発(継続) ▶ 4億4,880万円

新駅を核とした、計画的なまちづくりを推進します。原水駅周辺の土地区画整理や立地適正化計画の策定により、将来の都市の形をつくります。

地域の道路整備(継続) ▶ 2億2,940万円

地域の道路について、区画線の設置や、傷んだ道路の舗装、道路の改良などを行います。

- 杉並木公園指定管理事業 [2億3,854万円(新規)] など

10年後の菊陽町～イメージイラスト～



イラスト：前田地生さん(菊陽町PR大使)

IV 町民サービス向上のための施策

～公共施設の計画的な改修やDXの導入で、よりよい行政環境を目指します～

公共施設の計画的な維持管理 ▶ 20億1,760万円(令和7年度3月補正と合算)

学校、保育所、町営住宅など、老朽化した施設の改修を計画的に実施し、安全・安心な環境を保ちます。

自治体DXの推進(継続) ▶ 2,456万円

「行かない役場」の実現に向けたオンライン申請の拡大など、利便性を向上させます。

- 職員育成業務改善自主事業 [200万円(新規)] など

町長から町民の皆さまへ

4つの重点施策

令和8年度予算



菊陽町長 吉本 孝寿

令和8年度の当初予算は、本町を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、新たに策定した「第7期菊陽町総合計画」を踏まえた初めての予算編成となり、過去最大規模となります。

また、本町が地方交付税の不交付団体となったことを、「自立した自治体」としての新たな一歩と捉え、責任ある財政運営のもと、将来に必要な投資と、町民の皆さまが住んで良かったと実感できる施策を進めていく予算編成いたしました。

令和8年度予算では、「町民の生活を豊かにする施策」をはじめとする4つを、重点施策として定めています。

その中で、高齢者に優しいまちづくりとしての新たな事業をはじめ、働きざかり世代の健康推進、子育て世代支援の給食費完全無償化の継続などで、全ての世代の皆さまが、安心して暮らせる環境づくりを進めていきます。

さらに、4月に開業するくまモニアーバンスポーツパークの活用、交通渋滞対策では、国や熊本県と連携して着実に取り組めます。

これからも「成長しつづける町。」をスローガンに、町民の皆さまの声を大切にしながら、菊陽町に、住み続けたいと思っただけのまちづくりを進めてまいります。

I 町民の生活を豊かにする施策

～高齢者、働き盛り、子育て世代まで、誰もが住んで良かったと思える町へ～

高齢者向けの新たな施策(新規)

▶ 1,220万円

介護人材の確保・定着や、住宅改修を支援し、高齢者が安心して暮らし続けられる環境を整えます。

働き盛り世代のがん予防推進(新規)

▶ 1,865万円

40歳～70歳の節目年齢を対象としたがん検診の無料化により、町民の健康を支援します。

子育て世代への経済的支援(継続)

▶ 3億7,689万円

小中学校の給食費および保育所・幼稚園の副食費の無償化を継続し、家計を支援します。

多世代交流・地域活動の推進(拡充)

▶ 650万円

世代を超えた交流を促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。



運動指導(健康長寿プロジェクト)の様子

- 新規就農、経営体支援農業者向け事業 [2,300万円(新規)]
- 農地維持資源向上支援事業 [840万円(新規)]
- 5歳児検診等事業 [511万円(新規)]
- こども館運営事業 [1,245万円(新規)]
- 多文化共生センター設置事業 [1,472万円(新規)]
- 中学生立命館アジア太平洋大学派遣事業 [252万円(新規)] など